

協働のまちづくりグループ 第三期提言書について

佐藤、平田、井西、岸田、芝

1. 第三期の提言書に向けて

ポイントは行政への働きかけと地域運営組織とその尊重

1)現在の到達状況

- ① 職員研修の定着と実施
- ② 橋本市各部部署間での情報共有の連携の仕組み作りの提案
- ③ 多様な市民と共に学習交流をして、地域活動をしていく現場見学の実施の必要性

2)明らかになった課題について

- ①協働のことは文字として見たことはあるが、情報として関わっていない人にとっては難しい
- ②地域運営組織の認知度の低さ

3)解決のための提案について

- ①職員研修で、職員が住んでいるところがどうすれば良くなるか話し合い、提案してくれたことを実施していくことで職員へのやる気のアプローチになる
- ②提言の目指す骨子を地域運営組織に提供して第2層協議体を踏まえて整理する

2. まとめ

多様な市民が共に学習交流し地域活動をする事で協働のまちづくりが活性化します。

また、地域運営組織が人材の育成や地域交流を担って協働のまちづくりを進めていきます。

以上